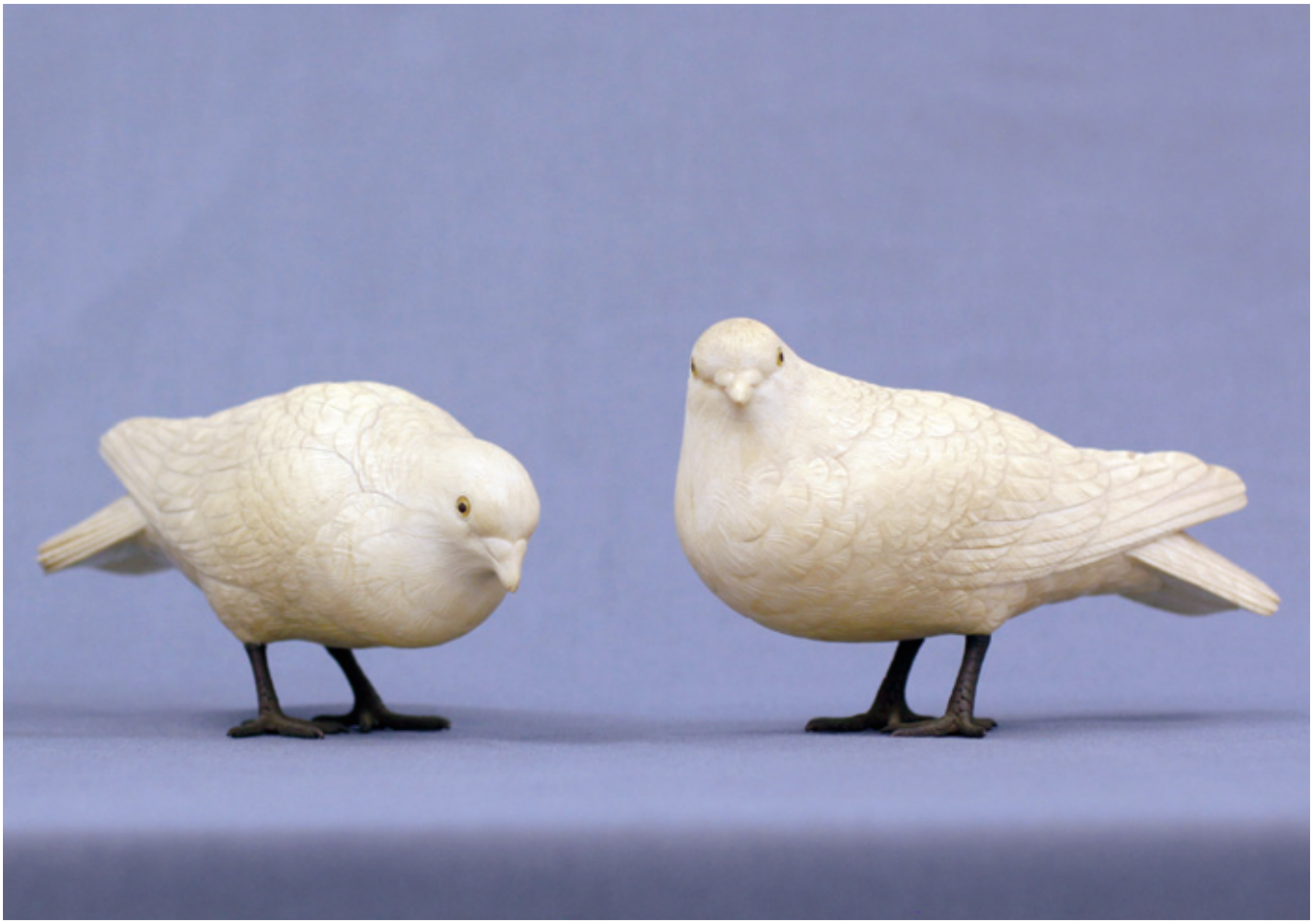
もりおか歴文館だより 9

Rekibunkan News Vol.9
〈2017.9.21 発行〉

◆平成28年度開催企画展のご報告
◆歴文館スタッフ伝言板　～新商品・オリジナルミュージアムグッズ誕生～
◆インフォメーション



◆象牙彫刻 「鳩」 明治時代

象牙（ゾウの牙）を彫って作られた鳩の彫刻。2 羽で 1 対の鳩が写実的に表現されており、1 枚ずつ丁寧に彫り込まれた羽毛からはその柔らかさが伝わってくる。明治時代には、日本の伝統技術によって作られた繊細な工芸品、特に漆工芸や金工品、本作品のような動物の角や牙で作った根付や彫刻などが、ヨーロッパ諸国やアメリカなどで人気を集め、数多くの作品が輸出された。

※同資料は企画展「ANIMALs×morioka ―資料のなかの動物たち―」（～10/9）に展示中です。

Morioka History and Culture Museum
もりおか歴史文化館
活性化グループ

◆平成28年度開催企画展のご報告

◆第18回企画展
「盛岡南部家の生き方・第1部　―乱世を切り抜けた南部家と盛岡のはじまり―」
平成28年4月29日(金・祝)～7月3日(日)

「盛岡南部家の生き方」と題して、盛岡を拠点と定め、そこに城と町を創り、現在の盛岡の原点ともなった盛岡南部家を主題とし、改めて盛岡の歴史の理解を深めていただく企画展を開催。3部構成(3年計画)のうち、本展は第1部として「乱世を切り抜けた南部家と盛岡のはじまり」をテーマに、盛岡の基礎を創り上げ、その後の盛岡の在り方を決定づけた盛岡南部家の生き方を紐解きながら、盛岡のルーツを辿りました。

◆第19回企画展
「南部鉄器　―時代を超えた鐵(くろがね)の美―」
平成28年7月31日(日)～11月3日(木・祝)

岩手を代表する伝統工芸品であり、国内だけではなく国外からも注目されている「南部鉄器」。本展では、主に盛岡藩で発展を遂げた南部鉄器について取り上げ、江戸時代から続く歴史と伝統、その受け継がれた技から生み出された美を、江戸時代から現代にかけての作品を中心にご紹介しました。

◆第20回企画展
「ひな祭り ―名家に伝わるお雛様を愛でる―」
平成29年1月21日(土)～3月5日(日)

盛岡南部家、七戸南部家、城下町盛岡・遠野の商家に伝わる雛人形・雛道具、もりおか歴史文化館で収蔵している「上巳(じょうし)(桃)の節句」に関連する資料を中心に展示しました。連動ワークショップとして「まゆ人形づくり」「花結びでアクセサリーづくり」を開催し、小さくて可愛いものを見て、作って楽しんでいただきました。

この他にも様々なテーマ展を開催しました!

◆歴文館スタッフ伝言板　～新商品・オリジナルミュージアムグッズ誕生～

もりおか歴史文化館では今年の6月に新商品「殿さま一筆箋」を発売しました。こちらの商品が生まれた背景は、発売からさかのぼること2ヶ月前、休み明けの職員のキーボードに「Good　Morning」と語りかける10代藩主　南部利正が立てられていたことから始まりました。4月から始まる企画展「盛岡南部家の生き方・第2部　～揺らぐ盛岡藩に立ち向かう南部家～」開催に向け、5代から10代までの藩主画像入り出力見本が頻繁にお目見えしていたのですが、印刷された画像を有効に活用したのがこのメモ。日頃の疲れが癒されると同時に、「南部の殿様を身近に感じてもらえる良いアイテムになるのではっ・・・」と一気に盛り上がりました。

そして南部家の御当主をはじめ、関係各所に許可をいただき、無事に発売を迎えることができました。

こちらの一筆箋の正式名称は「殿さま一筆箋　一筆啓上致し候（いっぴつけいじょういたしそうろう）」。この「一筆啓上致し候」とは、「お手紙を差し上げます」という意味で、手紙の冒頭などに記されるあいさつの言葉です。実際に盛岡藩主が江戸幕府老中などに宛てた書状の中にも書かれています。

現在、盛岡藩初代の南部信直から10代の利正までの一筆箋が販売されています。それぞれの一筆箋には殿様の基礎情報と、キャッチフレーズ（※企画展「南部家の生き方」シリーズの担当学芸員が考えました！）が記されています。推し殿を見つけるもよし、見事コンプリートするもよし！城下町盛岡を創り上げ、発展させた南部の殿様たちを、より身近に感じていただくきっかけになれば幸いです。

スタッフ間の伝言メモから生まれた新商品！

使い方は貴方次第！

◆インフォメーション

【刊行物（残部あり）紹介】

種別	誌　　名	頁数	価格	送料
図録	第5回企画展　『あの日あの時の盛岡　―明治・大正・昭和の風景―』	32頁	500円	360円
図録	第13回企画展 『あの日あの時の盛岡　―馬のいた風景―』	23頁	500円	360円
図録	第15回企画展 『旅の枝折　―みちのく観光のみちしるべ―』	32頁	500円	360円
図録	第17回企画展 『盛岡の指定文化財　―未来へのおくりもの―』	38頁	700円	360円
図録	第18回企画展 『盛岡南部家の生き方・第1部　―乱世を切り抜けた南部家と盛岡のはじまり―』	64頁	1,000円	360円
図録	第19回企画展 『南部鉄器　―時代を超えた鐵の美―』	64頁	1,000円	360円
図録	第21回企画展 『盛岡南部家の生き方・第2部　―揺らぐ盛岡藩に立ち向かう南部家―』	64頁	1,000円	360円
図録	第22回企画展 『ANIMALs ×morioka　―資料のなかの動物たち―』	40頁	700円	360円

※送料はレターパック料金です

【刊行物のお求め方法】

・直接購入のご案内：もりおか歴史文化館のミュージアムショップで販売しています。

・郵送でのご購入：①電話（019-681-2100）またはE-mail（info@morireki.jp）で事前にお求めの図書の在庫状況をご確認ください。

②希望する図書の冊数、および氏名・送付先・ご連絡先を記入いただき、代金を下記宛に現金書留でお送りください。郵送料は切手で、図書代金は現金でお願いいたします。

③代金到着後、図書を発送いたします。

◎企画展「ANIMALs×morioka ～資料のなかの動物たち～」開催中：10月9日（月）まで

◎テーマ展

「まぼろし動物園～資料のなかのモノノケたち～」
開催中：10月16日（月）まで

◎れきぶんナイトミュージアム

当館の学芸員が様々な分野についてお話をしたり、夜の博物館をご案内します。
事前の予約は必要ありません。お仕事が終わった後など、お気軽にお立ち寄りください。

◆定員：50人
◆会場：もりおか歴史文化館　1階研修室

＜秋＞ 今日は十五夜！
「お月見文化を考える」
日時：2017年10月4日（水）
19時～20時半
内容：学芸員と一緒に月見をはじめとする自然を愛でる文化について考えてみましょう。

＜冬＞冬至まであと1週間！
「盛岡の年中行事エトセトラ」
日時：2017年12月15日（金）
18時～19時
内容：「裸参り」など昔から盛岡に伝わる冬の年中行事についてお話しします。

ご利用案内

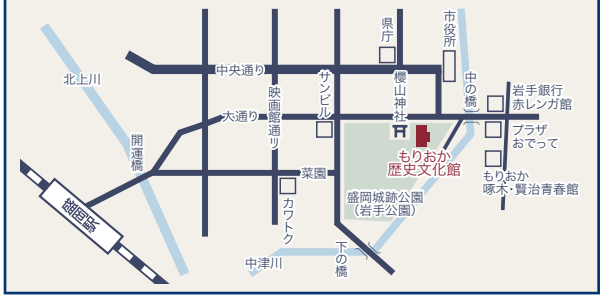
〈開館時間〉4月～10月　9:00～19:00（2階歴史常設展示室への入場は18:30まで）
11月～3月　9:00～18:00（2階歴史常設展示室への入場は17:30まで）
〈休 館 日〉毎月第3火曜日（祝・休日の場合は翌日）12月31日～1月1日
〈入 館 料〉入館は無料です。
2階展示室のみ有料となり、右記の入場料が必要となります。

	個人	団体（20人以上）
小・中学生	100円	80円
高 校 生	200円	160円
一 般	300円	240円

○障がいをお持ちの方やその介護をなさる方（付添いを含めて2人まで）は、無料で入場できます。
○盛岡市在住で65歳以上の方は、入場料が免除されますので、係員に証明書等をご提示ください。
○盛岡市内の学校に就学している小・中学生の方は、入場料が免除されます。
○企画展をご覧になる場合は、別途入場料が必要となる場合があります。

〈交通の案内〉 ●電車をご利用の場合　○JR盛岡駅下車 徒歩20分
●バスをご利用の場合　○岩手県交通・岩手県北バス
●お車をご利用の場合　○盛岡IC・盛岡南ICから車で25分
※当館の敷地内に一般車両の駐車スペースはございません。隣接する「盛岡城跡公園地下駐車場」（有料）など近隣の駐車場をご利用ください。

所在地・交通のご案内



もりおか歴史文化館
〒020-0023　盛岡市内丸1番50号
Tel：019-681-2100　Fax：019-652-5296
https://www.morireki.jp/